2025 年度 若手・女性研究者奨励金 レポート

研究課題	**イギリス絵画におけるジェイン・エレン・ハリソンの影響の研究ージョン・ウィリアム・ウォーターハウスの絵画作品を中心にー**
キーワード	①J. E. ハリソン、②イギリス絵画、③J. W. ウォーターハウス

研究者の所属・氏名等

フリガナ 氏　名	ワカナ　サヤカ 若名　咲香
配付時の所属先・職位等 （令和７年４月１日現在）	盛岡大学　文学部　英語文化学科　助教
現在の所属先・職位等	盛岡大学　文学部　英語文化学科　准教授
プロフィール	筑波大学大学院人文社会科学研究科現代語・現代文化専攻博士後期課程単位取得退学、博士（文学）。専門はジョン・ウィリアム・ウォーターハウスを中心とするヴィクトリア朝美術。美術・文学・歴史に着目しながらイギリス文化を学際的に研究。共著に『エロスとタナトス、あるいは愉悦と戦慄――ジョゼフ・ライト・オヴ・ダービーからポール・ナッシュへ』（ありな書房、2021 年）。

1. 研究の概要

本研究では、ジョン・ウィリアム・ウォーターハウスの作品をはじめとする 19 世紀のイギリス絵画に対し、ジェイン・エレン・ハリソンがどのような影響を及ぼしたのかを追究した。

まず、ハリソンの著作や伝記、ハリソン関連の先行研究を網羅的に調査し、ハリソンの業績の全貌を把握した。また、ハリソン関連の研究動向を整理したところ、19 世紀イギリスの美術雑誌に寄稿された記事の存在が十分に照射されていないことが浮き彫りになった。

そこで本研究では、19 世紀イギリスの主要な美術雑誌を調査し、ハリソンに関連する記事の調査と分析を行った。これにより、19 世紀イギリスの美術界とハリソンが接点を有したことが明らかになった。また、ハリソンの寄稿記事がウォーターハウス作品の特異な図像表現と強い類似性を持つことも確認された。さらに、資料分析と絵画分析を通じて得られたこれらの成果をふまえて、19 世紀のイギリス美術界におけるハリソンの位置づけを考察した。

2. 研究の動機、目的

先行研究ではウォーターハウスがハリソンから影響を受けた可能性が指摘されていたが、個別作品ごとの綿密な分析・考察は不十分であった。また、ハリソンの著作は同時代人に広く読まれていたが、イギリス美術界においてどのように受容されていたのかは詳らかにはされていない。そこで本研究は、ウォーターハウス作品等の 19 世紀のイギリス絵画において、ハリソンからの影響がどのようなものであったのかを明らかにすることを目的とした。

3. 研究の結果

本研究では、ハリソンが 19 世紀のイギリス美術と接点を持ったことを、当時の主要美術雑誌の調査を通じて明らかにした。また、美術雑誌へのハリソンの寄稿記事がウォーターハウス作品に及ぼした影響を、図像的分析と記事内容の検討によって明らかにした。これらを論証していく過程で、ハリソン関連の資料を収集・調査し、ハリソンの生涯と著作物を整理する年表

と、19 世紀イギリスの主要美術雑誌におけるハリソン関連記事のリストを作成した。

ハリソンは、女性の大学進学が困難な時代にケンブリッジ大学で歴史学を学び、古代の宗教・芸術・文化を浩瀚に研究し、学術誌への論文投稿、講演活動、著書の出版等を行った。さらに、ハリソンの研究成果は同時代の美術に対しても影響力を持っていた。従来の研究では充分に論じられてこなかったが、本研究の調査を通じて、『マガジン・オブ・アート』誌に 10 年以上にわたってハリソンの署名入り寄稿記事が多数掲載され、ヴィクトリア朝期の美術に携わる者達がハリソンの記事を頻繁に目にしていたことが明らかになった。

加えて、『マガジン・オブ・アート』誌のハリソンの記事中の図版や文言が、ウォーターハウスをはじめとする 19 世紀のイギリスの画家たちに及ぼした影響の諸相も見えてきた。ウォーターハウスの《ユリシーズとセイレンたち》と《ダナエ》には、鳥のセイレン像、箱から立ち上がるダナエ像といった、西洋絵画の図像伝統や 19 世紀絵画の流行とは大きく異なる特異な表現が含まれている（19 世紀の絵画においては、セイレンは女性の上半身と魚の下半身を組み合わせた人魚像で描かれることが多く、ダナエ神話の図像伝統においては塔に幽閉されたダナエと黄金の雨に変身したゼウスが並置されることが多い）。ハリソンの著作や『マガジン・オブ・アート』誌に寄稿した記事の中には、ハリソン自身が調査・収集した古代遺物の写真、遺物表面を装飾する図案の書き起こし図が含まれており（図１）、それらはウォーターハウス作品の図像表現と強い類似性を示している。さらに、記事に含まれる古代神話に対するハリソンの解釈は、画面上でのウォーターハウスの神話解釈にも合致しており、特異な図像表現の理論的支柱になった可能性が高い。ウォーターハウスが独自の絵画表現を選択する際、ハリソンの著作や記事は、図像的・理論的根拠として参照容易かつある程度の信頼性を持てるものとして位置づけられていたはずである。このように、ハリソンがウォーターハウス作品等の同時代の絵画に影響を与えた可能性がきわめて高いことが、本研究を通じて補強された。

上記の研究成果の一部は、2025 年 11 月 8 日に日本ヴィクトリア朝文化研究学会第 25 回全国大会にて、「ヴィクトリア朝絵画における J.E.ハリソンの影響――J.W.ウォーターハウスの絵画分析を中心に」と題した発表によって公表した（図２）。さらに、この学会発表の内容をまとめた論文「J.E.ハリソンとヴィクトリア朝絵画の接点――J.W.ウォーターハウスの絵画分析を事例として」を、2026 年 3 月発行の『盛岡大学紀要』第 43 号に投稿し、査読を経て掲載された。


THE MYTH OF PERSEUS AND ANDROMEDA. 301

tell him of the unknown country beyond. In a picture which we have not engraved we might see him starting on his journey. The design comes from a large krater-shaped terra-cotta vessel, found in Ægina, and now in the Berlin Museum. On one side is depicted the slaying of Medusa; and on the other, as a sort of counterpart, the slaying of the Harpies. The style is very early, probably of the Sixth Century B.C.; unhappily only a fragment of each design is preserved. Athenê is simply dressed in a long chiton, painted behind as is usual on vases of this period, and a himation cast over her head. Perseus has his cap, his sword, and his winged boots, and of these last he is making excellent use; for he is posed in the old kneeling attitude which in the archaic archaic fashion of indicating rapid flight, and as in most flying figures his arms are symmetrically arranged, so that he has a very purposeful look. His name is also inscribed, but with a letter left out—"Perseus." The ground of the design is all over with little ornamental decorations.

Of the Grey Sisters, with their one eye and one tooth, ancient art has left us no record; perhaps they were too shadowy in shape to be more than the mythical doubles of the Gorgons. We need not stop to tell how Perseus found them in their dreary home, and

rude humour. The Gorgon shapes themselves have taken firmer hold on both ancient and modern imagination. Homer knew of the terrible head of the Gorgon. Odysseus, who had faced the perils of the underworld, yet feared to tarry in Hades, as he says: "and pale fear got hold of me lest the high goddess Persephone should send out the head of the Gorgon, that dread monster." But he seems to have known nothing of the slaying of Medusa, nor of the sad story of her love and betrayal. This it is that has haunted the modern imagination, this blending of beauty and horror of sin and sensitive remorse, love and unavailing torment—this to the poet and painter make up the "temperious loveliness of terror," and so in modern verse we read how Perseus fared to a land

"Where green cliffs the lives cut as ivky on,
But no green leaf may grow on bush or tree,"

and there within an ancient hall he finds two women, with stony eyes and withered limbs, sitting motionless, with their bony hands upon their knees; and a third shape more terrible than they, a woman who cannot sit, but paces to and fro, clad in a "thin red garment," and ever as she paces she moans aloud and shrieks in anguish, for in her golden hair are writhing snakes, and she is girt with a

how he stole their one dear eye, and forced from them the secret of Medusa's dwelling. The tale is a somewhat uncouth one, smacking of savage fancy and

jewelled girdle which the sea-god Poseidon gave her the day of betrayal. And Perseus, when he saw her, pitied her, for she would fain "live no longer, but

図１

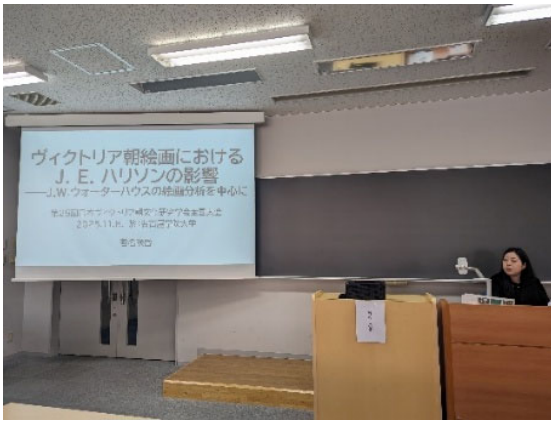


図２

4. 研究者としてのこれからの展望

本研究ではイギリスの美術雑誌を調査したが、19 世紀が中心となり 20 世紀のものは十分に扱えなかった。今後は調査範囲を 19 世紀以降にも広げ、20 世紀にも活躍を続け没後も影響力を持ち続けたハリソンの痕跡を、イギリスの美術雑誌上に追跡していきたい。

また、本研究ではウォーターハウス作品を中心的に扱ったが、古代ギリシア神話に取材した全ての作品を網羅できたわけではなかった。また、ウォーターハウス以外にも、古代ギリシア神話主題を絵画化した画家は多くいた。彼らもまた古代神話を研究していたハリソンの著作に関心を寄せていた可能性が高いが、この点は論じられていない。今後の研究では、本研究を通じて得られた、美術雑誌とハリソンの関連をまとめたリストや年譜、ハリソン関連の文献資料等を活用して、未検討のウォーターハウス作品や別の画家の作品を取り上げ、ハリソンとイギリス美術の関係をより広範に追究していきたい。

5. 支援者（寄付企業等や社会一般）等へのメッセージ

この度は本研究を採用して頂き、深謝申し上げます。本奨励金によって、勤務校では困難であった一次資料の調査、高額な研究文献の入手、遠方での学会発表等が可能となりました。研究者を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、私のように、本奨励金によって活力を得られる研究者が少なからずいることでしょう。ぜひ今後とも本奨励金の継続的な運用と、若手・女性研究者へのご理解・ご支援を頂けますよう、何卒よろしくお願いいたします。